

第4章 かわさき教育プラン 第3期実施計画 令和5年度点検・評価シート

基本政策Ⅰ 人間としての在り方生き方の軸をつくる

政策
目標

「キャリア在り方生き方教育」をすべての学校で計画的に推進し、すべての子どもに、社会で自立して生きていくための資質・能力や態度とともに、共生・協働の精神を育みます。

主な課題

○社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程であるキャリア発達を促すため、各学校の実情に応じて、全ての市立学校で「キャリア在り方生き方教育」を推進しており、引き続き子どもたちに社会的自立に向けて必要な能力や態度とともに、共生・協働の精神を計画的・系統的に育てる教育が求められています。

主な取組成果

- 「キャリア在り方生き方教育・進路指導担当者研修会」を年間3回実施し、訪問研修等149回実施することで各校の教育活動の充実を図ることができました。また、**「キャリア在り方生き方ノート」に令和4年度から加えた「市制100周年」に関するページを活用した活動案を作成**するとともに、「キャリア・パスポート」の活用について、長期研究員とともに研究し、教職員の理解を深めました。ICTを活用したポートフォリオについては、担当者に向けてアンケートを実施し、実態把握を行いました。

教育改革推進会議における意見内容

- 全国に先駆けて「キャリア・パスポート」の実践を行っている川崎市の取組は非常に素晴らしいと思う。年に数回であっても、親子で人生の目的や夢などを話し合える機会が設けられていることは子どもたちの精神的な支えとなるので、今後も取組を推進してほしい。
- 社会参画に関する意識について、令和4年度に比べて数値が大きく上昇しているので、関連する取組や意図的に取り組んだ成果といえる点があれば、取組を振り返りながら事業を進めていけるとよい。
- 持続可能な社会の創り手の育成と、日本社会に根差したウェルビーイングの向上が文部科学省の第4期教育振興基本計画で示されているが、教育現場に落とし込んでいくときには「キャリア在り方生き方教育」が必須だと思う。
- 「キャリア在り方生き方教育」は、川崎の教育を進展させるための根幹を支える事業であり、さらに前進させるために、各教科の学びの中に「探究の時間」を導入して、仲間とともに考え、調べ、解答を見出すような授業を展開するなど、VUCAへの対応を確実に行っていただきたい。**
- 「キャリア在り方生き方教育」は定着してきており、もう少し深めていきたいところではあるが、時間が取れないという現状があり、教職員の働き方・仕事の進め方改革と、子どもにとって大切なことをしたいという時間のバランスが、これからますます難しくなっていくと思う。

今後の取組の方向性

○**市制100周年を契機に**キャリア在り方生き方教育「わたしたちのまち川崎」の視点で見直した**各学校の教育活動をさらに充実させていく**とともに、子どもたちの社会的・職業的自立に必要な力や態度の育成に向けて、より学校の特色を活かし、今日的な教育課題に対応したカリキュラム・マネジメントに資する、具体性のある研修を行っていきます。また、「キャリア・パスポート」の活用について研究したことをもとに、「キャリア在り方生き方ノート」や「キャリア・パスポート」の効果的な活用方法などについて、具体的な取組を発信し、活用の促進に取り組めます。ICTを活用したポートフォリオについては、研究やアンケート結果から現時点での電子化には課題が残ったため時期尚早と判断し、今後に向けて、電子化の段階的導入について、GIGA端末の活用状況等を踏まえ検討していきます。

参考指標

指標名	指標の説明		実績値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7年度)
自己肯定感	「自分にはよいところがあると思う、どちらかといえばそう思う」と回答した児童生徒の割合 【出典:全国学力・学習状況調査】	小6	79.1%	81.7%	84.4%	—	—	83.0% 以上
			(R3(2021)年度)					
		中3	76.4%	79.3%	79.8%	—	—	77.0% 以上
			(R3(2021)年度)					
将来に関する意識	将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」と回答した児童生徒の割合 【出典:全国学力・学習状況調査】	小6	77.3%	77.7%	79.9%	—	—	90.0% 以上
			(R3(2021)年度)					
		中3	65.2%	64.0%	66.1%	—	—	75.0% 以上
			(R3(2021)年度)					
自己有用感	「人の役に立つ人間になりたいと思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合 【出典:全国学力・学習状況調査】	小6	96.0%	95.7%	96.3%	—	—	97.0% 以上
			(R3(2021)年度)					
		中3	94.6%	93.9%	94.6%	—	—	95.0% 以上
			(R3(2021)年度)					
チャレンジ精神	「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している、どちらかといえば挑戦している」と回答した児童生徒の割合 【出典:全国学力・学習状況調査】	小6	73.0%	74.7%	— ※	—	—	82.0% 以上
			(R3(2021)年度)					
		中3	66.0%	67.1%	— ※	—	—	75.0% 以上
			(R3(2021)年度)					
チャレンジ精神 【第3期から設定】	「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している、どちらかといえば挑戦している」と回答した児童生徒の割合 【出典:川崎市学習状況調査】	小5	—	78.5%	74.9%	—	—	82.0% 以上
			—					
		中2	—	66.0%	65.6%	—	—	75.0% 以上
			—					
共生・協働の精神	「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある、どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合 【出典:全国学力・学習状況調査】	小6	—	—	—	—	—	— ※ ※
			—					
		中3	—	—	—	—	—	— ※ ※
			—					
社会参画に関する意識	「地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある、どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合 【出典:全国学力・学習状況調査】	小6	54.2%	55.6%	80.0%	—	—	56.0% 以上
			(R3(2021)年度)					
		中3	39.5%	35.3%	59.5%	—	—	40.0% 以上
			(R3(2021)年度)					

※令和5（2023）年度以降の出典元の調査において設問がないため、実績値の記載はありません。
 ※※平成30（2018）年度以降の出典元の調査において設問がなくなったため、目標値の記載はありません。